

**【第257号 紙面案内】**

第2面……………常任理事会報告

第4～5面……………第59回全国研究大会プログラム

第8面……………第60回全国研究大会自由論題募集

## 日本経営教育学会創立30周年に寄せて

会長 小椋 康宏 (東洋大学)

新緑の候、会員の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

日本経営教育学会は、本年6月をもちまして、創立30周年を迎えます。30周年記念事業の一環としての記念出版である『講座／経営教育』3巻（第1巻『実践経営学』、第2巻『経営者論』、第3巻『経営教育論』）が、中央経済社から発刊されました。また、機関誌『経営教育研究』第12巻第2号が、創立30周年記念号として学文社から発刊されます。

学会創立30周年記念大会は、来る6月26日(金)、27日(土)、28日(日)の日程で、東洋大学の柿崎洋一大会実行委員長のもと、「日本企業の経営実践と経営教育」を統一論題として開催されます。本大会は、柿崎教授の解題にあるように、実践経営学ではなく「経営実践」、「経営実践学」という表現を用いています。その意味では、経営学は実践学であるという点を重視し、その方法論を問うことがテーマになっております。故山城章先生が学会創立当時に在職していた東洋大学で、この記念すべき大会を開催できることを会長としても光栄に思っております。今日、山城章先生が強く提唱してきた『経営実践学』を現代の経営学の経営実践に活かす努力が求められております。また、人間の学としての経営実践学が、21世紀に貢献する学問であることを社会に発信する必要があります。

本学会の今後の展開として重要な活動は、学会のメンバーが研究グループをつくり、それぞれ共通の研究課題を日本企業の経営者および経営実践家との研究交流により、新しい成果を出し、それを国内外に発信することです。日本経営教育学会は、日本の経営実践学としての経営学をリードする責任をもっています。

この6月30日で、執行部は任期を終えます。執行部を支えてくださいました会員の皆さまに感謝を申し上げるとともに、会員の皆さまの今後のご活躍と発展を祈念して、会長の挨拶といたします。

## 第3回常任理事会報告

平成21年3月14日(土)、10時30分より東洋大学白山キャンパス5号館5403教室で第3回常任理事会理事会が開催されました。以下、審議の結果をご報告いたします。

1. 日本経営教育学会第59回全国研究大会について  
東洋大学で開催される第59回全国研究大会について最終確認を行なった。
2. 機関誌委員会運営規定改定案、機関誌執筆要領改定案について  
機関誌委員長より、当委員会運営規程の改定案、執筆要領の改定案について説明がなされた。これらについて審議がなされ両案とも承認された。  
また、機関誌の学会ホームページへの掲載について議論がなされた。本件については今後検討を続けることとした。
3. 会員入退会について  
会員の入退会について、新たに個人会員8名の入会と31名の退会について審議がなされ、それぞれ承認された。本理事会承認分とあわせて、会員数は個人会員802名、法人会員6社となったことが報告された。
4. その他
  - ①山城章先生生誕百年記念の「産学交流シンポジウム」について小椋会長より報告がなされた。
  - ②『記念出版』について報告がなされた。

## 平成21年度年次総会のご案内

新緑の候会員の皆様におかれましてはご健勝のこととお喜び申し上げます。  
下記の要領で、平成21年度年次総会を開催いたしますので、ご出席くださいますようお願い申し上げます。総会を欠席される場合は、必ず委任状をご送付くださるようお願いいたします。

### 記

1. 期日 平成21年6月27日(土)
2. 時間 15:10~16:00
3. 会場 東洋大学
4. 議題 (1) 平成20年度活動報告および収支決算の件  
(2) 平成21年度活動計画および収支予算の件  
(3) 任期満了にともなう理事選挙

## 機関誌投稿論文募集

機関誌委員長 森川 信男 (青山学院大学)

2009年8月末日締め切りで、機関誌『経営教育研究』第13巻第1号(2010年1月発行予定)への投稿論文を募集しています。会員の皆さまからの積極的なご投稿をお待ちしております。なお、ご投稿に際しては必ず、「機関誌投稿規程」と「機関誌執筆要領」の遵守をお願い申し上げます。

## 平成20年度 第2回中部部会報告記

草田 清章（愛知産業大学短期大学）

平成20年度第2回中部部会が、3月21日（土）13時30分より、中部大学名古屋キャンパスで32名の参加者を得て開催された。

第1報告は、速水智子氏（中京大学大学院）による「社会起業家の育成は、起業家が行うのが良いのか — 起業支援の事例からの考察 —」、コメンテーターは、辻村宏和氏（中部大学）であった。速水氏の報告は、社会起業家創出のための教育のあり方について、特に大学教育を中心として検討したものであった。

第2報告は、榎田智子氏（広島経済大学）と杉浦裕晃氏（青森公立大学）による「消費者教育の必要性に関する一考察 — 情緒性を手掛りに —」コメンテーターは、伊藤敦氏（愛知産業大学短期大学）であった。榎田氏と杉浦氏の報告は、消費者自身に、理性的な消費行動の必要性を認識させる策としての消費者教育の必要性についての考察であった。

第3報告は、亀倉正彦氏（名古屋商科大学）による「主体性とコミュニケーション力の育成に関する一試論 — 今年度の『社会人基礎力育成講座』の実践をふまえて —」、コメンテーターは、草田清章（愛知産業大学短期大学）であった。亀倉氏の報告は、社会人基礎力が、経営教育の議論とどのように関連しているかを検討したものであった。

それぞれの報告終了後には活発な質疑応答がなされた。引き続き、辻村部会長を議長として、会計報告および次回開催校などの連絡がなされた。

報告会終了後、多数の参加者のもと懇親会が盛大に行われ、学会長 小椋康宏先生（東洋大学）より乾杯のご発声を頂戴しスタート。終始和やかな雰囲気の中会員間の交流が深められた。

なお、平成21年度第1回部会は、平成21年11月7日（土）に、中部大学名古屋キャンパスにて開催の予定です。部会では随時報告募集を行っております。報告を希望される方は、事務局・草田清章（愛知産業大学短期大学 岡崎市岡町原山 12-5 TEL：0564-48-8282 e-mail：kusada@asu.ac.jp）まで、お知らせください。

## ◇◇北海道部会開催のご案内◇◇

日本経営教育学会北海道部会を、下記のとおり開催いたします。今回は経営哲学学会北海道部会との合同開催です。多くの方の参加をお待ちします。ぜひ皆で活発な討論を楽しみましょう。

●日 時：平成21年6月20日（土）13:30～17:00

●場 所：北海学園大学 7号館 D101

### ●報告プログラム

第1報告：斉藤直樹（北海道情報大学）「経営戦略と組織 — H. Mintzbergの組織布置論研究（仮）」

第2報告：佐藤浩史（北海学園大学大学院経営学研究科博士課程）「日本企業経営者における意思決定傾向の考察 — 内向き志向と外向き志向からの検討（仮）」

第3報告：早川淑人（札幌学院大学地域社会マネジメント研究センター研究員・北海道商科大学非常勤講師）「子どもをとりまく社会の変化と社会教育団体としてのPTAマネジメント — 保険学的視点から（仮）」

●問合せ：北海道部会長・大平義隆（北海学園大学）（ohira@ba.hokkai-s-u.ac.jp）

## 日本経営教育学会 第59回全国研究大会プログラム 統一論題「日本企業の経営実践と経営教育」

### 第1日 2009年6月26日(金)

13:15～ 企業見学 東京ガス ※13:15 東京ガス新宿ショールーム集合  
18:00～19:00 理事会 2号館 16階 スカイホール

### 第2日 2009年6月27日(土)

9:00 受付 東洋大学 井上記念館 1階ロビー  
9:30 開会挨拶 日本経営教育学会第59回全国研究大会実行委員長 柿崎 洋一  
9:35 会長挨拶 日本経営教育学会会長 小椋 康宏  
9:40～11:50 統一論題 テーマ別セッション (報告:各20分 討論:60分 総括:10分)

9:40～11:50	第1セッション【経営実践学の方法】 井上記念館	第2セッション【CSR】 5 B12教室
報告者(1)	平田 光弘 (一橋大学) テーマ 産学協同と経営実践学の方法	水尾 順一 (駿河台大学) テーマ CSRのコミュニケーション形成に関する一考察
報告者(2)	西田 芳克 (株式会社山城経営研究所代表取締役) テーマ 帝王学の喪失と復興	村井 淳 (東京急行電鉄株式会社リゾート事業部統括部長) テーマ 企業の社会貢献活動～理念・ブランド・地域の視点から
報告者(3)	小椋 康宏 (東洋大学) テーマ 経営実践学の方法と経営教育	佐々木 利廣 (京都産業大学) テーマ NPOとの協働によるCSRの実践
コーディネーター	増田 茂樹 (明治学院大学)	佐藤 一義 (立正大学)

11:50～12:50 昼食

12:50～15:00	第3セッション【経営者教育】井上記念館	第4セッション【イノベーション】 5 B12教室
報告者(1)	松本 芳男 (日本大学) テーマ 経営者教育と経営実践	山崎 秀雄 (和光大学) テーマ 企業における製品イノベーションのプロセスと持続的競争優位
報告者(2)	河野 大機 (東洋大学) テーマ 経営者教育の理論と実践	小西 一有 (ガートナジャパン株式会社エグゼクティブパートナー) テーマ イノベーション・パラドックスを克服する
報告者(3)	桜井 克彦 (東海学園大学) テーマ 経営者教育と経営目的概念	吉村 孝司 (明治大学) テーマ 企業の革新性とイノベーション経営の遺伝子学的分析
コーディネーター	辻村 宏和 (中部大学)	森川 信男 (青山学院大学)

15:10～16:00	会員総会 (井上記念館)
-------------	--------------

16:10～17:30	記念講演 (井上記念館)
講演者	酒巻 久 (キヤノン電子株式会社代表取締役社長)
講演テーマ	日本企業の経営実践とテクノロジー
司会者	幸田 浩文 (東洋大学)

18:10～19:30	懇親会 (如水会館 オリオンルーム ※千代田区一ツ橋)
-------------	-----------------------------

## 第3日 2009年6月28日(日)

9:00 受付 1号館 3階ロビー

9:30~11:40 統一論題 テーマ別セッション (報告:各20分 討論:60分 総括:10分)

9:30~11:40	第5セッション【管理者教育】1307教室	第6セッション【グローバル化】1308教室
報告者(1)	福原 康司(専修大学) テーマ 組織における語りと管理者教育	中村 公一(駒澤大学) テーマ 日本企業のグローバル化とM&A
報告者(2)	楠本 正(キユーピー株式会社執行役員生産本部副本部長) テーマ みずから変化し動けるミドルの育成 ~管理者ではなく、ファシリテーター型ミドルを育てる~	金子 重芳(株式会社セールス・ユニバーシティ代表取締役社長) テーマ グローバル企業の営業パワー開発事例
報告者(3)	梅澤 正(日本教育大学院大学) テーマ 経営教育と企業文化	手塚 公登(成城大学) テーマ グローバル経営と企業の境界問題
コーディネーター	谷内 篤博(文京学院大学)	鈴木 岩行(和光大学)

11:40~12:50 昼食(ランチョンパーティー)第2会議室

11:40~12:50 新理事会

12:50~15:45 自由論題報告(報告:各25分 コメント:各15分)

12:50~13:30	自由論題(A-1) 1307教室	自由論題(B-1) 1308教室	自由論題(C-1) 1205教室	自由論題(D-1) 1206教室
報告者	水谷 覚(富山短期大学)	小林 勝(ハリウッド大学院大学)	森下 正之(NPO標準医療情報センター)	シュレスタ・ブパール・マン(創価大学院生)
テーマ	実験的研究の方法論のマネジメント教育への活用	労働市場における国際競争力向上と大学・大学院における「キャリア・エデュケーション、ガイダンス、カウンセリング」イニシアティブ	最新の経済・経営系メディア小論文を活用した経営教育の基礎的手法の研究	インド企業のCSR活動の比較研究
コメンテータ	大平 義隆(北海学園大学)	山中 伸彦(立教大学)	亀川 雅人(立教大学)	小島 大徳(神奈川大学)
司会者	原田 順子(放送大学)	篠原 淳(福岡経済大学)	松村 洋平(立正大学)	児玉 敏一(札幌学院大学)

13:35~14:15	自由論題(A-2)	自由論題(B-2)	自由論題(C-2)	自由論題(D-2)
報告者	塩見 芳則(大阪芸術大学短期大学部)	河口 弘雄(学習院大学)	北見 幸一(北海道大学)	ビシュワ・ラズ・カンドル(創価大学院生)
テーマ	ミドル・マネジャーの役割とキャリア・デザイン	M.P. フォレットのリーダーシップ論と非営利組織	企業資本における社会関係資本の市場評価に関する実証研究—企業不祥事を中心に—	インド財閥傘下企業の経営実態
コメンテータ	佐久間 信夫(創価大学)	松本 潔(自由が丘産能短期大学)	木村 敏夫(流通科学大学)	白坂 亨(大東文化大学)
司会者	田口 智子(北翔大学短期大学部)	杉田 博(石巻専修大学)	井上 善海(広島大学)	中村 修(光星学院八戸短期大学)

14:20~15:00	自由論題(A-3)	自由論題(B-3)	自由論題(C-3)	自由論題(D-3)
報告者	杉田 あけみ(千葉経済大学短期大学部)	野本 茂(聖泉大学)	日隈 信夫(日本大学)	村瀬 慶紀(東洋大学院生)
テーマ	ワークライフ・バランスに関する考察	日中企業交流に及ぼす経営文化の影響に関する応用心理学的研究	寡占的企業における資金調達の変化とコーポレート・ガバナンス—日本電気通信企業のM&A戦略の事例を中心に—	日本のホテル企業におけるグローバル化の可能性
コメンテータ	小島 芳次(東京情報大学)	池田 玲子(羽衣国際大学)	大野 和巳(青森中央学院大学)	桑名 義晴(桜美林大学)
司会者	河合 博子(立教大学)	茂垣 広志(横浜国立大学)	高橋 成夫(新潟産業大学)	平井 宏典(共栄大学)

15:05~15:45	自由論題(A-4)	自由論題(B-4)	自由論題(C-4)	自由論題(D-4)
報告者	細野 賢治(広島大学)	竹井 潔(聖学院大学)	小高 正稔(東洋大学)	堀田友三郎(東海学園大学)
テーマ	ミカン共販組織における個別農家に対する生産・出荷指導に関する一考察—JAありたミカンの共販組織を事例として—	情報倫理のゼミにおける学生への経営ビジネスゲームの試行導入	経営教育におけるビジネスゲームの役割	中小企業の経営倫理教育
コメンテータ	増田 幸一(九州共立大学)	小山 修(札幌大学)	桜澤 仁(文京学院大学)	城田 吉孝(愛知学泉大学)
司会者	小川 達也(東京富士大学)	加藤 茂夫(専修大学)	川端 大二(川端人材開発研究所)	水野 基樹(順天堂大学)

## 平成20年度第2回九州部会報告

松尾 裕一（福岡県立福岡工業高等学校）

日本経営教育学会九州部会が、平成21年3月7日（土）学校法人福原学園天神サテライトキャンパスで開催された。

第1報告は、瀬戸正則氏（広島大学・大学院生）の「経営理念の組織内浸透とエンタープライズ・リスクマネジメントに関する一考察—同族経営中小企業における事例から—」で、氏は最近の中小企業の動向から問題提起をされ、それを確証するためにケース・スタディによる分析をされていた。

第2報告は、井上善海氏（広島大学大学院社会科学部研究科）の「意思決定のスピードに関する一考察」で、氏は環境激変期こそ、抜本的なリストラが必要であり、それを断行するためには意思決定スピードが重要であるとし、中小企業を対象とした組織IQ調査の報告がなされた。

第3報告は、細野賢治氏（広島大学大学院生産圏科学研究科）の「ミカン共販組織における個別農家に対する生産・出荷指導に関する一考察—JAありたミカンの共販組織を事例として—」で、氏は多様な農家（個人事主）に基づく生産体制のなかで、製品コンセプトと生産管理方法をいかに統一させるかが販売額確保の鍵になることを有田地区の事例により報告された。

第4報告は、赤羽根和恵氏（日本女子大学・大学院生）の「ペット関連市場に見る企業の社責任」で、氏はペット関連市場における規律付けに、コンプライアンス、コーポレート・ガバナンスとともに、積極的な企業の社会的責任を行う企業が市場で優位になるという見地で分析を行い報告された。

第5報告は、石毛昭憲氏（拓殖大学）の「労働時間管理の意義に関する考察」で、氏は昨今の労働時間管理をめぐる問題を取り上げ、特にホワイトカラーの正規従業員・管理職について報告された。

以上の各テーマにおいて活発な議論が行われ、その後の懇親会においても引き続き討論がなされた。なお、平成21年度第1回九州部会は5月開催予定である。

### ◇◇関西部会開催のご案内◇◇

- 日 時：平成21年6月6日（土）13：30～16：45
- 場 所：関西大学百周年記念会館第3会議室  
（阪急千里山線関大前駅、南改札口側の17号門から百周年記念会館前までエスカレーターが設置されておりますので、ご利用ください。）
- 報 告：関西部会会員による3名の報告を予定しております。
- 報告会終了後には懇親会が予定されております。
- 詳細は別途はがきにてご案内を申し上げます。
- ご不明な点は、部会幹事の大東正虎（daito@rcss.kansai-u.ac.jp）までお申し出ください。

## ◇◇中部部会開催のご案内◇◇

中部部会では、平成21年11月7日(土)に第40回部会開催を予定いたしております。

●日 時：平成21年11月7日(土) 13:30~17:00

●場 所：中部大学名古屋キャンパス

(交通) 名古屋市中区千代田5-14-22

JR中央本線「鶴舞」駅名大病院口(北口)下車すぐ

地下鉄「鶴舞」駅下車北へ約100m

※駐車場はありません。公共交通機関をご利用ください。

## ●報告プログラム

第1報告：清剛治氏(北陸先端科学技術大学院大学)「産学官連携人材の育成 — その背景、ねらい、そして育成プログラムの策定—」

第2報告：谷井良氏(中部学院大学) 論題未定

第3報告：加藤里美氏(朝日大学)「ベトナムにおけるジェンダー・ダイバーシティ」(仮題)

●参加費：500円

●問合先：中部部会長・辻村宏和 (tsujimura@smile.ocn.ne.jp)

平成21年度第2回中部部会は、平成22年3月に開催の予定です。中部部会事務局では随時報告募集を行っております。

報告を希望される方は、事務局・草田清章(愛知産業大学短期大学岡崎市岡町原山12-5 TEL:0564-48-8282 e-mail:kusada@asu.ac.jp)までお知らせください。

## 学会創立30周年記念出版

日本経営教育学会は、このたび学会創立30周年記念出版として『講座/経営教育』として、第1巻『実践経営学』、第2巻『経営者論』、第3巻『経営教育論』を中央経済社より発刊いたしました。なお、この記念出版物は、執筆者および中央経済社の協力によって出版できたものであります。

これらは3巻とも市販されておりますが、記念本につきましては、非売本として学会の方に寄贈されており、一部保存いたします。残部(40部程度)につきましては、先着順で学会員に3巻一括で9,500円(送料込み)でおわけしたいと思います。

希望される方は、学会事務局宛に氏名・住所・電話番号を記載の上、FAXにてお申し込みください。申込締切日については平成21年6月30日といたします。

日本経営教育学会編(2009)『実践経営学』中央経済社

日本経営教育学会編(2009)『経営者論』中央経済社

日本経営教育学会編(2009)『経営教育論』中央経済社

## 第60回全国研究大会自由論題募集

平成21年10月23日(金)～10月25日(日)に広島大学において開催される第60回全国研究大会での自由論題報告を募集します。下記要領に従ってお申し込みください。

### 《応募要領》

1. 応募資格：本学会の会員  
ただし、1年以内に報告された方の応募はご遠慮ください。
2. テーマ：本学会の目的に沿う以下のもの
  - ・経営体の諸活動に関する実践的経営の研究
  - ・日本の経営および国際的経営の研究
  - ・経営者・管理者の実践的能力を育成するための経営教育の研究
3. 応募書類：応募には表紙、報告要旨、参考文献の3点が必要です。
  - ・表紙（A4サイズ1枚）……以下を明示してください。体裁は任意です。
    - ①氏名（漢字・仮名およびアルファベット）
    - ②報告テーマ
    - ③所属（現職および職位）
    - ④連絡先（自宅および所属先の電話番号・FAX番号、E-mailアドレス）
  - ・報告要旨（A4サイズ、用紙縦置き横書きで2枚以内）  
要旨には問題意識、論点、結論等を必ず含めてください。
    - ①字数は2,000字（40字 30行）、10.5ポイント、余白は上下左右各25mm
    - ②報告テーマはゴシック体、要旨は明朝体
  - ・参考文献（A4サイズ1枚）……書式は報告要旨に準じます。  
参考文献は内容と密接に関係するものにとどめ、関係の薄いものは控えてください。  
上記書類を締切期日までに郵送または電子メールでお送りください。
4. 締切：平成21年7月10日(金) 必着
5. 応募先・問い合わせ先：日本経営教育学会事務局（担当：魚住 良三）  
〒102-0072 東京都千代田区飯田橋4-8-4 株式会社山城経営研究所内  
TEL：03-3264-2100 FAX：03-3234-9988 E-Mail：name@kae-yamashiro.co.jp

機関誌投稿論文、日本経営教育学会山城賞および山城賞奨励賞、アメリカ経営学会経営教育部会への派遣報告者、韓国経営教育学会への派遣報告者のお申し込みやお問い合わせは事務局までお願いいたします。

### 編集後記

会報257号をお届けします。学会創立30周年記念大会が、6月26日(金)～28日(日)の3日間、東洋大学で開催されます。記念すべき大会への会員の皆さまのご参加をお待ちしております。

現会報委員による会報の発行は、257号が最後となります。会員の皆さまのご協力に心から感謝申し上げますとともに、新会報委員に対しましても、ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

樋口弘夫・杉田あけみ

発行 日本経営教育学会

〒102-0072 東京都千代田区飯田橋4-8-4  
株式会社山城経営研究所（担当：魚住）  
TEL 03-3264-2100 FAX 03-3234-9988  
E-mail: name@kae-yamashiro.co.jp  
URL: http://www.j-keieikyoku.jp/

印刷 株式会社フジヤマ印刷 〒03-3260-3801  
E-mail: fujiyama@mx7.ttcn.ne.jp